



2014年11月号

今月のテーマは、
「南極観測船 1/100 模型」
です。



宗谷

第1次から第6次まで活躍した海上保安庁の巡視船です。
1956年に第1次隊を乗せて晴海を出航し、6次隊(1961年)まで6回の航海をしました。
1978年に現役を退き、現在はお台場にある「船の科学館」で一般公開されています。

第7次隊(1965年)から第24次隊(1982年)まで南極観測に従事。
宗谷の老朽化にともない、新たに建造された砕氷船です。
宗谷のディーゼル直結推進と違い、電気推進となったため、砕氷能力が増して迅速な行動ができるようになりました。
現在は、名古屋港で一般公開されています。



ふじ



しらせ (初代)

第25次隊(1983年)から第49次隊(2007年)。
ふじの老朽化のため、3代目の観測船として建造されました。
馬力がふじの2倍以上に増え、砕氷能力が格段に上がりました。
また物資の搭載量もふじの約500トンから1000トンに倍増。
現在は船橋港に係留されています。

2009年11月の第51次南極航に初就航。
先代しらせより一回り大きく、船首にある20個のノズルから海水を連続的に散水し、氷上に積もった雪を湿らせて抵抗を減らして進みます。
今月南極に向けて出航予定。第56次隊を南極まで運びます。



しらせ (現行)